

無事に実施できました

見学旅行・修学旅行

十月十四日の1年生からスタートした秋の見学旅行でしたが、十一月五日・六日実施の6年生の修学旅行で、今年度のすべての旅行関係行事を無事終了することができました(5年生は、六月六日・七日に集団宿泊教室を実施)。昨年度は、コロナ感染の影響で、1年〜4年の見学旅行をすべて中止としましたが、今年度は、感染の落ち着いている状況と重なり、子どもたちの貴重な体験学習と思い出づくりのための行事を行うことができたことをうれしく思います。

特に、6年生の修学旅行は、小学校生活で最も大きな行事と言えます。一日目は、長崎市原爆資料館を中心に平和学習を行い、二日目は、ハウステンボスで、大切な仲間とともに一生忘れられない楽しい時間を過ごすことができました。

どの学年も、秋空の下、子どもたちの笑顔が輝いていました。



ハウステンボス(11月6日)



平和公園(11月5日)

一人一人が大切に

されている存在・命です

十一月八日から十二月十日までは、校内人権月間となっています。十日(水)の全校朝会で人権に関する講話を行いました。

〈講話〉

校長先生は、十一月五日・六日、6年生の人たちといっしょに、長崎へ修学旅行に行ってきました。長崎は、日本が戦争をしていた時、今から76年前に、原子爆弾という大きな爆弾を落とされたまちで、そこで、多くの方が亡くなりました。原子爆弾が落とされた時に、その長崎で暮らしておられた、奥村あや子さんのお話を6年生の人たちと聞いてきました。奥村さんは、1945年8月9日の朝、いつもと同じように家族といっしょに朝ご飯を食べられたそうです。その数時間後の午前11時2分に、長崎に原子爆弾が落とされ、家族と離れ離れになってしまわれました。

家族に会いたくて会いたくて、必死に探されましたが家族は見つかりませんでした。その後、自分と弟以外は、みんな原子爆弾によって亡くなっていることがわかりました。その後、大火傷を負っていた弟さんの間もなく亡くなり、一人ぼっちになりました。

朝いっしょに過ごしていた家族と一瞬の内に離れ離れになり、自分一人だけになってしまうことなど、私たちの今の生活からは、想像もできません。奥村さんのお話から、命の大切さ、家族の大切さを、改めて学ぶことができました。

みなさん一人一人が家族に大切にされている存在です。今、教室にいる自分、また、自分の周りにいる学級の仲間一人一人が家族に大切にされている存在。

命です。大切な存在・命である友達を悲しませたり苦しめたりすることはなかったでしょうか。悪口を言ったり、からかったり、いじめをしたりするようなことはなかったでしょうか。

託麻南小学校で生活しているみんなが、大切にされている存在・命です。自分を含めた周りの人たちみんなを、これまで以上に大切にしたいと思えます。そして、みんなの思いやりで、学校で生活しているみんなが、さらに安心して楽しく過ごせる託麻南小学校になればいいなあと思っています。

周りのお友達を大切にしていきたいです。

◇11月16日(火)の昼休みに、器楽部による「中庭コンサート」が開かれました。中庭や校舎の窓からたくさん子どもたちが演奏を聴き、文化の秋を実感する時間となりました。「夜に駆ける」「アシタカセっ記」「託麻南小学校校歌」の3曲、すてきな演奏ありがとうございました。



中庭で行われた器楽部のコンサート

12月の行事予定

- 1日(水) 南っ子集会(保健委員会)
学校保健委員会(5, 6年)
- 3日(金) 委員会活動
- 7日(火) 授業参観(5校時)
3, 4, 7, 8 町内・14:05~14:25
1, 2, 5, 6 町内, 校区外・14:30~14:50
- 8日(水) 南っ子集会
(ハートフル委員会)
- 15日(水) グリーンタイム
- 17日(金) PTA5学年活動
- 23日(木) 給食最終日
- 24日(金) 2学期終業式(給食なし)

※7日(火)の授業参観は、校舎内での密を避けるため、前半と後半を町内ごとに分けた実施となります。ご理解ご協力をお願いいたします。